共同生活援助・共同生活介護事業所「港夢（みなとーむ）」

令和８年度　地域連携推進会議

日時：令和８年 10 月 31 日（土）
13：00～15：20
場所：ヴィレッジ２号館地域交流室

【出席者】
（地域）　４名　（利用者）２名　（家族）１名　（港夢）５名　　合計　12 名

1、管理者挨拶

2、自己紹介

3、地域連携推進会議概要説明

◆ R7 年度より地域と施設等が連携をすることにより、利用者と地域との関係づくりや、地域の方への施設等や利用者に関する理解の促進等を目的として、施設等の外部の方を構成員とした「地域連携推進会議」を年に１回以上、開催することが義務付けられました。

地域連携推進会議の趣旨	以下を目的に、事業所において、地域の方等の外部の方にご参加いただき、会議の開催・施設訪問を実施します。 • 利用者と地域との関係づくり • 地域の人への施設等や利用者に関する理解の促進 • 施設等やサービスの透明性・質の確保 • 利用者の権利擁護
会議の参加者	以下の中から事業所が選定します。 利用者　　利用者のご家族　　地域関係者　　福祉に知見のある人
利用者の個人情報の取り扱いに関する留意事項	会議・施設訪問にご参加いただく中で、利用者の個人情報に触れる可能性があります。 利用者やそのご家族の中には、障害があることや、障害福祉サービスを利用していることを他者に知られたくない方もいらっしゃいます。 利用者の権利擁護のため、地域連携推進会議で知り得た利用者の個人情報は、外部に漏らすことがないよう、格別のご高配をお願いいたします。

4、共同生活援助・共同生活介護事業所「港夢」概要説明　意見交換

Q. 畑は駐車場のところでしていますか？
A.（利用者 A 氏より）かぶとか植えています。１１月にはさつま芋を収穫します。
Q. 一般就労はどういう形で？農福連携がいわれているご時世だが。
A.（港夢より）訓練してステップアップしていき、地域にある一般企業で就労していけるよう支援をしていきます。就労継続支援 A 型、B 型事業所や自立生活援助事業所などで支援可能です。養護学校在学中から見学へ行くなどして、入所者の方が某農園で働きたい意向を言われていた時もありました。
Q. 自立をするためにどんなことを頑張っておられますか？
A.（利用者 A 氏より）掃除をしたり、生活バランスを崩さないように頑張っています。生協を使って調理したり、冷凍食品を食べたりしています。

Q. 防災の取り組みはどうなっていますか？
A.（管理者より）万が一の火災などに備え、緊急連絡としてSECOMと連携している。年に２回総合防火訓練を行い、避難訓練もしている。他は消火器の使用訓練などもしている。
片庭町のグループホームは原井小学校へ避難することになっている。
Q. 災害時は避難所運営が大変なのでのときは協力して運営してもらえると助かる
A.（管理者より）地域と協力して運営していけると良いと思っています。引き続きよろしくお願いいたします。

5、施設見学

ふたつの班に分かれて見学を行った。見学には出席者に加えて、しおかぜB型利用者の家族1名、はまかぜA型利用者1名とその家族1名もグループホームの見学に同行された。
港夢5号にある中央トイレについては、洗面所との仕切りがないことに驚かれた。トイレはこのほかに、女性専用のトイレがあることをご案内した。
今後はプライバシーを配慮し、目隠しの設置などを早急に検討する。
食堂の感染時期に使用していた仕切りをみて、「まだやっておられるんですね」といわれた。
感染対策として継続していることをお伝えした。